

日 時：平成 28 年 8 月 18 日（火）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：尾上総合支所

対象地区：尾上・南田

参加人数：15 名

■意見交換

内 容
<p>○除排雪について</p> <p>（市民からの要望、質問）</p> <p>津軽尾上駅付近にあるバス停の辺りは、除雪で雪の高さが 3m くらいになり、原から来る人たちは道路が見えない。駅周辺であり人も車も多いので、2m が限界ではないか。まめに排雪して欲しい。</p> <p>尾上町会にある住宅地パークタウンは袋小路になっていて、緑地が 3 箇所あり除雪により 4m 近くになるので排雪して欲しい。また、3 月末から雪が解けて水たまりになるため、U 字溝に流れるようにして欲しい。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・津軽尾上駅前の押雪部の排雪は 1～2 回ほど行っているが、今年から 2m を目途に極力排雪するよう努める。・パークタウン緑地の雪についても早めの排雪に努める。緑地の排水について U 字溝に流れるか現場を確認して対応方法について町会長へ連絡する。
<p>○道路の拡幅について</p> <p>（市民からの要望、質問）</p> <p>パークタウンの 1 回目の分譲地の近くの道路が 4m で車の交差が厳しく、災害時は大変だと思う。市の緑地があると思うので、2m ほど拡幅して欲しい。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・現場を確認して対応可能か検討する。
<p>○津軽尾上駅のバスについて</p> <p>（市民からの要望、質問）</p> <p>津軽尾上駅近くの青森銀行向いにあるバス停について、バスが止まっていると、尾上農村婦人の家の方から来る人たちは道路が見えにくく危ない。市からバス事業者へもう少し下げて停めてもらうようお願いして欲しい。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・2～3m バックしてバスを停めてもらうようバス事業者へ依頼する。

○まちづくり懇談会について

(市民からの要望、質問)

まちづくり懇談会で出た要望等に対する市の回答が町会に来ていない。市に問い合わせたところ市のホームページを見て欲しいと言われたが、町会長へも渡して欲しい。

(市の回答)

- ・まちづくり懇談会の会議録は市のホームページで公表している。町会からの要望で回答を保留したものについては、できる限り町会長へ回答を連絡している。

(市民からの要望、質問)

まちづくり懇談会の会議録を市のホームページからの印刷や、支所の窓口でのコピーも大変であるので、町会長へ郵送して欲しい。

(市の回答)

- ・会議録と保留した回答は町会長へ郵送する。

○除排雪と道路の補修について

(市民からの要望、質問)

尾上の十文字、住宅の袋小路、尾上農村婦人の家の駐車場など、排雪をまめに対応してもらっている。

雪解け後の道路補修について、白いスプレーで囲われているが、8月になっても未だに補修されていない。大十食堂付近も危険なので、早めに対応して欲しい。尾上のメイストリートであるが、なかなか補修されない。

(市の回答)

- ・見通しが悪い箇所等、できるだけ排雪の実施に努める。
- ・定期的に道路状況をパトロールし対応に努める。
- ・道路の補修については、現場を確認して早めに対応する。
- ・大十食堂南側の道路は県道であることから、補修要望について県に報告する。

○新陸上競技場について

(市民からの要望、質問)

陸上競技場が完成したらどのようなイベントを実施するのか。市民運動会は行う予定はあるのか。

(市の回答)

- ・陸上競技場は来年の3月に完成し、5月から供用開始という予定で進んでいるが、これから落としに何を実施するかは具体的には決まっていない。運動会を実施するには行

政委員との協議が必要と考えている。

- ・昨年度健康づくり宣言をし、高齢化社会の中において、元気で長生きする高齢者でいられるために、健診や適度な運動により寿命を延ばしていこうとしている。高齢者が適度に体を動かすということは大事であり、市のスポーツ振興を進めながら元気な平川市を作っていきたいと思う。
- ・旧 3 町村の方々が集まって交流できる場ができないか考えている。

(市民からの要望、質問)

- ・尾上の子ども会では大人にも呼び掛けて夏休みにラジオ体操を行っているのですが、陸上競技場で旧 3 町村合同のラジオ体操を実施すればいいのではないかと。

(市の回答)

- ・いい意見をいただいたので検討課題として協議したい。

(市民からの要望、質問)

運動会やラジオ体操を実施するのであれば実行委員会を作ってやってほしい。町会長ばかりが実行するのは大変である。実行委員会に町会長たちが協力するという形が望ましい。

(市の回答)

- ・実施方法について、どちらか一方に負担が偏らないやり方を検討する。
- ・私も若い頃公民館活動の中で運動会の選手集めをしていたが、その中で連帯感やつながりが生まれた。人と人とのつながりが薄くなっているが、今後はますますつながりを強くしていかなければならない。
- ・こけら落としのイベントは 1 回きりとなるが、旧 3 町村の方々が集まるイベントは継続できることをやりたい。

○排雪とふるさと納税について

(市民からの要望、質問)

今年も通学路や尾上農村婦人の家の排雪をよろしくお願いしたい。ふるさと納税でロータリー車を買って排雪の回数を増やしてほしい。

(市の回答)

- ・ふるさと納税については、平成 27 年度は約 1 億 6,000 万円の納税があったが、お礼の品やインターネットの手数料等の経費を差し引くと、市に残るのはその 47%である。納税にあたっては使いみちを納税者に観光振興、農業振興、人材育成等の選択肢を選択していただき、その項目に沿って活用している。このふるさと納税の活用方法について、市役所内で検討する会議を設置し、来年度へ配分することを考えている。

- ・ロータリー車の購入という要望があったということを伝える。ちなみにロータリー車は小さいものでも1,000万円はする。
- ・できるだけ通学路や市民の安全安心に関わる箇所については排雪させていただくが、全ての要望にはなかなか応えることは難しいので、ご理解いただきながら今後も可能かどうかを検討していく。

○津軽尾上駅前開発と空き家対策について

(市民からの要望、質問)

津軽尾上駅前通りの街灯に係る電気代については、周辺の店舗による組合で負担しているが、店舗が少なくなり街灯の予算もないので、今年から点灯する本数を少なくしている。店舗が無くなり組合が無くなれば街灯を消すことも起こりうる。このような状況をにあり、市では駅前開発は予定していないのか。道路沿いに空家が多く、また空地も多いのでそれに対する対策は。

(市の回答)

- ・駅前開発については具体的には予定していない。
- ・ふるさと納税を活用した駅前通りへのにぎわい創出ということで、旧3町村それぞれに100万円ずつ交付し、尾上地域では公民館跡地で納涼会が開催された。
- ・旧尾上町において原燃交付金を活用して駅前の街灯を整備したが、その当時LEDは主流ではなく、設置費も高かった。それを見て旧平賀町でも街灯を整備することとなり、LEDが選択された。両方組合による管理ということとなっている。

(市の回答)

- ・空家については現地調査を行っている最中で、今現在1,460件ある。現地調査終了後、所有者に意向調査を実施し、売却、貸付、解体等、空家に対する考えを調査する予定である。落雪、倒壊、飛散等の恐れがある空家については、所有者へ指導し、所有者に処置していただくこととなる。個人の資産を市が処分するとその経費を当事者へ請求はできるが、払わない場合は税金で賄わなければならないため、なかなか進まないのが現状である。

(市民からの要望、質問)

なぜ防犯灯だけLEDにしたのか。

(市の回答)

- ・市所有の防犯灯と町会所有の街灯についてLEDに変更したが、組合所有のものまで視野に入れていなかった。

(市民からの要望、質問)

組合員である商店が少なくなっており、1件当たりの負担が大きくなっている。

(市の回答)

- ・商店街の受益者が変化していることは課題として対応する必要があると思う。いずれ町会と協議しながら検討することとなると思う。

(市民からの要望、質問)

4つの街灯組合があり、1基当たり2灯あるうち1つを点灯しているが、電気料は半分ではなく2/3である。4つの組合の代表者と協議した。今後組合員が減少し続けると街灯を消すしかなくなるので、市にお願いすることになると思う。

(市民からの要望、質問)

2つある街灯を1つにすると犯罪が起きるのではないかと懸念される。起きてからでは遅い。商店街には明るさが必要と思い、組合にも言ったが、金がないと2つを1つにするしかないということだった。

(市の回答)

- ・市内の街灯をLED化したのは、長寿命化、犯罪抑制にもつながる明るさ、電気料金の減少といった3つの利点が得られることから、1億円弱で実施した。組合の街灯について経営者が少なくなると維持管理が難しくなっている状況もわかるので、原燃交付金で整備したものについてLED化の方法がないか庁内で検討する。LED化により電気料金が減少すれば組合での支払いも少しは楽になると思うので、検討する。

○埋蔵文化財の発掘調査について

(市民からの要望、質問)

埋蔵文化財の跡地の試掘を早めてもらいたい。

(市の回答)

- ・埋蔵文化財包蔵地が市街化区域で結構あり、開発する際は原則開発業者が発掘調査し、宅地開発をしなければならない。このことにより埋蔵文化財包蔵地として指定されている土地の所有者は宅地化ができない、売却できないということがある。埋蔵文化財包蔵地と指定されているが、どの程度重要なものが埋蔵されているのか試掘調査をした結果、市教育委員会の立会いで工事が可能なもの、または発掘調査しなければならないものということが分かっている。試掘の結果については、開発業者が市教育委員会に確認すれば分かるので、市教育委員会へ確認していただきたい。尾上地域でも試掘結果をもとに開発する動きがあると聞いています。

- ・動きはあるそうだが、あくまで開発する側が経費を出すこととなる。尾上地域の猿賀や原では大きな遺跡があるため開発ができないので残念ではあるが、市が全て発掘して開発することはできない。
- ・文化センターに試掘調査の結果がデータであるので、その場所であればデータが活用できるが、試掘以外の場所については業者が負担して試掘することとなる。

○今後の公共施設の建設について

(市民からの要望、質問)

本庁舎や平賀体育館が新築される予定とのことだが、いつどこに建設するのか。

(市の回答)

- ・本庁舎については、今年度の早い時期に基本設計を行う予定であったが、市議会の庁舎建設委員会における検討結果を聞いた上で判断することとなっているため、市としての結論は出していない。今年度中に基本設計を行い、平成 32 年度の開庁を目指して進めていきたいと考えている。ただ、建設単価が当初 35 万円/㎡であったのが、東日本大震災の復興、東京オリンピックに係る建設、熊本震災の復興などの要因により、50 万円/㎡と高騰することが予想される。よって、建設場所や規模、また、健康センターをどのように活用するのかなどについて議論している。市の財政状況を提示した上で市議会の意見を聞きながら、庁議等で最終的に決めることとなる。12 月議会までには基本設計を実施したいと考えている。
- ・平賀体育館については、昨年度、新市の建設計画により平成 32 年度までには建設するとしたが、建設単価の高騰により合併特例債を充当できる枠をオーバーする見込みであり、市単独で対応する可能性がある。そういうことを踏まえながら平賀体育館の建設に取り組むこととなっている。
- ・平賀東小学校と猿賀小学校については、補助金を活用して改築する予定であったが、東小学校に係る補助金が不採択となった。来年度に向けて再度申請し、文部科学省に要望する予定である。
- ・学校給食センターについては、平賀のセンターを増改築して施設を統廃合する。
- ・有利な財源である合併特例債を活用できるうちに、将来に向けて公共施設の整備を行う必要がある。基金も 84 億円ほどあるが、全て使えるわけではなく、災害等があった時対応できる基金を残しておく必要がある。そのような状況を踏まえて、新しい施設を建設していく必要があることをご理解いただきたい。

○商工会尾上支所について

(市民からの要望、質問)

- ・商工会尾上支所はあと 2～3 年で廃止されると聞く。市で購入する予定はあるのか。

(市の回答)

- ・県商工会の方針で派遣する職員を削減する中にあり、商工会尾上支所には職員が2人しかおらず運営が厳しいと聞いている。商工会尾上支所が廃止されるかどうかについては、商工会で決めることであり、市がどうするということとはできない。商工会尾上支所が廃止され、その建物をどのように活用するかということになれば、まだ比較的新しい施設であることから、活用方法を考える必要があると思う。活用方法がないと市が購入することは難しい。まずは商工会で尾上支所を廃止するのか、廃止後どうするのか等、順序立てて協議していただきたい。

○尾上公民館の跡地利用について

(市民からの要望、質問)

- ・尾上公民館跡地の具体的な利用方法について教えていただきたい。

(市の回答)

- ・具体的な利用方法は決まっていない。高木町会から集会施設の建設要望はあるが確定はしていない。